婦人と新社會

山田わか主筆

七月號

第百號發刊に際して

民衆政治と教育

クリスティン・ド・ピザン

『三代の戀』を讀む

編輯の後

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
昭和三年六月二十三日印刷納本

昭和三年七月一日發行　第百號　毎月一回一日發行

東京　婦人と新社會　發行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

山田わか女史著

現代婦人の思想とその生活

四六判五百餘頁
定價貳圓八拾錢
送料拾四錢

現代婦人の思想とその生活について、從來發表された、また現に發表されつゝある山田女史の講話は、すべて本書にまとめられ組織立てられてゐます。女史の優れた人格と思想については、夙に皆樣さまご存知のことですが、母性愛の貴い創造力、その貴い創造力にもとづく婦人の使命について、婦人自らの自覺を促がし、婦人のこの使命に對する正しい理解を男子に要求するために、女史はたゆみなき努力をつゞけてゐられます。婦人の覺醒運動のために、街頭に立てる所謂先覺婦人と稱せられる人達は、決して少くはないやうです。しかし、山田女史のやうに、豐富な學殖と貴重な體驗によつて組織された思想から、すべてを力強く批判し生活しようとされてゐる人達は、まことに稀なやうです。それ故、女史の一言一句は、さながら預言者の獅子吼のやうに貴く響きます。現代の女性並びに男性が、女史のこの獅子吼に目ざまされること一日速やかであればあるだけ、お互の家庭に社會に、美しい輝やかしい平和と幸福がおとづれることもまた速やかであらうと思ひます

昭和婦人讀本 處女篇

定價壹圓
送料拾錢

昭和婦人讀本 家庭篇

定價壹圓
送料拾錢

處女篇は高女卒業前後のお孃さん達に、家庭篇は結婚前後のお孃さん、奥さん達にぜひご一讀をおすすめします。そしてまた、女性の感情とその使命に正しき理解をもたるべく一般の男性もぜひご一讀の必要があります。

東京牛込區赤城元町　株式會社　文教書院　振替東京四四三五三

第百號發刊に際して

本誌もいよ／＼第百號に到着致しました。此の小さい雜誌が百號のよはいを迎へたからと云つて人樣の御目には何のへんてつも無いわけでありますが、併し、これを生み育てゝまいります當事者にとつては感慨無量とは云はなくても、先づ、淺いものでは御座いません。

非常に骨の折れた險阻な道を歩みながら此處にたどり着いたと云ふのはそこに一つの希望があつたからです。丁度、馥郁とした薫りをあげて道ばたに咲いてゐる白百合のようなもので其の希望はありました。

これを具體的に云つて見るなら、たとへ、小さくとも此の小誌が愛の生れを促進するかも知れないと云ふことでありました。

あまりに現實的な利已主義的な今日の狀態を救ふものは、從屬的でなく、無能者でなく、そして、單なる權利義務を超越した豐富な愛の所有者なる婦人であります。

愛は世界を支配します。愛は貴いそして深刻な必要です。愛はその廣い翼を擴げて小さいものを大きくし、大きなものを支配し、因襲を取り除き、個人並びに社會のあらゆる必要を滿します。

自然の計畫は女性の愛を通してこの地上の一切を新らしくしようとしてゐるものであると私は信じて居ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

民衆政治と教育

社會學の見地から敎育と云へば、個々人の環境の常に變りつゝある狀態にその個々人を調節するための凡ての敎へと訓練とを意味します。そして、こう云ふ廣い意味に敎育と云ふことを考へて見ますと、現代の社會生活のうちには敎育の源の數は澤山あります。

その第一は家庭です、時間的に考へて見ても、人は生れるとから靑年期に達するまで彼に必要な訓練の最も多くを家庭に於て與へられます。

新聞雜誌、及び、その他の出版物も先づ敎育的意義を含んでゐて、大多數の成人した國民に新しい知識と知力上の刺戟を絕えず與へる源となつてゐます。

演劇、活動寫眞——用ひ方によつては——も確かに敎育的の勢力であるし、圖書館や博物館や又は講演など、その外まだ敎育的の源は數へ上げればいくつもあります。

が、それ等のいろ〱の敎育機關よりもより優勢であり、重要缺くべからざるものは學校です。學校殊に小學校は今日の文明國に於て最も優勢な敎育機關であり、國民敎化のための最大なる源であります。

その第一の理由

現代の文明國に於ては學校が優勢な敎育機關として重要であると云ふ其の理由はいくつもありますが、そのうちの第一の理由は、一國の人口のうちの子供即ち最も粘性ある、そして、最

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

も印象を受け易い幼國民に有益な教へと訓練を與へる處は小學校です。

幼國民の心の上に印象を與へると云ふ點に付て、學校と新聞雜誌及びその他の印刷物とを對照して見るならば其の勢力には比較も出來ない程の差があります。

學校はまだ幼兒時代を脫してゐない子供を收容します。そして、長い間一定の過程を踏んで學校と云ふ教育機關の凡てを彼等の上に應用します。ですから、學校に於て學ぶ處のものは彼等の全生活に影響を與へるに反して印刷物が彼等の生活に影響する處は微々たるものであります。

一體、新聞雜誌は每日々々數千萬人の上に或る勢力を及ぼしてゐます。けれども、新聞雜誌の讀者の大抵は先づ成人してしまつた男女です。彼等の人格を成形する粘性多い時代を通過してゐます。そして、彼等の大部分は彼等の心の習慣を造つてしまつてゐます。ですから、彼等が幼少年時代に受けたであらう程、彼等の讀む新聞雜誌から多くの感化を受けることは出來なくなつてゐます。

その第二の理由

現代の學校の優勢な位置に對するもう一つの理由は、學校に出席することは何年かの間强制的であると云ふことです。これに反して、成人が新聞雜誌及びその他の出版物を讀むと云ふことは自由であり、從つて怠りがちになります。

事實に於て、又、成人は一定の教育的過程を踏ませられるのは多くの困難に遭遇する事情の下に置かれてあります。けれども、子供は學校への出席を强制されても何等の困難を感じない事情の下に生活して居ります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

且つ、又、非常に暗示を受け易く、伸縮自在な心の狀態にある子供に對し今日の學校は少なからぬ引力を持つてゐます。そこで、子供は學校からの其の强制を喜んで受けてゐます。そして、この點は最も有意義です。なぜなら、もし、子供が學校へ出席することを絕へず嫌つてゐるならば學校は其の最上な感化力を子供の上に及ぼすことは出來ません。

その第三の理由

學校は、又、子供の上に矛盾なき、組織的な感化力を持つ唯一の教育機關です。新聞や圖書館や博物館は學校のように最大なる教育的効果を擧げ得るようには組織的になつてゐません。

家庭は子供の教育のためには最大重要な役目を持つてゐるとは云へ、この組織的と云ふ方面から云ふと大いに缺くる處があります。教育的感化力以外の感化力が家庭には餘まり澤山あります。有効な教育には、どうしても、秩序、組織、一致、及び應用が必要ですが、これ等の條件は學校に於て最もよく見出されます。その結果、子供は知識を確實に獲得するし、考へ方の善き習慣をつけられます。

學校へ行くと云ふこと其れ自身だけでも善き習慣を得、惡い感化力を避ける手段となります。ですから、幼國民の一人殘らずを就學せしめようとする入學令は、如何なる方面の仕事にも必要なる規則正しさを奬勵する有益な命令です。

その第四の理由

近代に於ける知識の範圍は益々廣く、益々複雜になつて來てゐるので、その眞髓を次代に傳へるだけでも、容易な仕事ではありません。云ひかへれば、一個人が社會的に生きて行くに付

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て必要とする知識の量は、それを教へるための專門的の制度によらなければならない程、それ程廣く且つ複雜になつて來てゐるのです。

ですから、彼女達の子供が一人前になるまで彼等に必要な學科の凡てを教へ得る母は少ないし、又、教へ得る能力を持つてゐるとしても、母の生活は子供の學科のために必要なだけの時間を共のために費し得ない狀態にあるのが普通です。

この文の始めに、個々人を社會化しようとする教育機關はいくつもあると申しましたが、併し、學校以外の凡ての教育機關は今云つた母の場合ひと同じく、いろ／＼のさしさはりがあつて學校程充分に其の能率を擧げることが出來ません。

唯、學校に於てのみ、この文明の流れが人類に與へた知力を充分に兒童に注入することが出來るのです。それ／＼の專門家の手腕により學校と云ふ仲介物を通して人類が所有する精神的遺産即ち知識と熟練を次代に結び付けることが出來るのです。

その結果、小國民は彼等の將來の生活の非常な責任に對して準備することが出來るのです。

個人の社會化

前にも云つた通り、學校は個々人を社會化する仕事をする處です。我々の生活は一つの社會現象です。從つて、個々人を一人前の人間にすると云ふことは社會生活のために個々人を訓練する、即ち、個人を社會化すると云ふことです。

個人を社會化すると云ふことはどう云ふことかと云ふと、それは、社會の一員として自他の幸福を增進し得るような能力、習慣、態度、及び、理想を個人に植へ付け、そして養成するこ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とです。なほ、云ひかへれば、個々人が彼等自身の生存の意義を教へられ、且つ、社會の進歩を助長し得るような資格を造つて貰ふ處が學校であるのです。

そして、自分の屬する社會に於ける一單位としての位置を確立するような個々人は學校に於て奨勵されなくてはなりません。

學校は、又、國民の指導者を選擇する個々人の目を開くことに努力すべきです。同時に、又、國民は賢明な指導者に從ふことが有利である理由をも教へられなければなりません。かくして、國民の心が健全に發達せしめられて、始めて民衆政治の成功を私共は見ることが出來ませう。民衆政治と社會進歩の成功不成功は一つにかゝつて小國民を教育する學校にあると私は切に思ふものであります。從つて、私共は國民教育制度に對して常に注目してゐなければならないのです。

クリスティン・ド・ピザン

生へる正當な理由があつてフランスに生へた婦人運動と云ふ樹は年が經るに從つて益々成長し、歐洲全土を蔽ひアメリカにも伸び、そして、十九世紀の中頃になつて、いよ〳〵婦人の社會的良心や、共同の精神や、合同の力の自覺となり、そして、私共日本婦人も其の影響を少なからず受けたのでありますが、併し、こう云ふように婦人運動なるものが此の地上の全部をゆり動かし得るように組織的な有力になる前にも、今日の婦人運動のように勿論組織的にではな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

く、孤立した婦人の聲が、即ち、女性は知力的にも道徳的にも男性に劣つてゐると云ふ一般の觀念に反對した女性の聲は、凡ての時代に凡ての國に於て發せられて居りました。

そして、近代の婦人運動のように組織的でなく、唯、單にあちらこちらに擧げられてゐた女性のたましいからほとばしり出てゐた聲、又は、女性は決して男性に劣るものでないと云ふ精神を充分に表現してゐた婦人の生活を、私は、近代の婦人運動と云ふ大きな樹となる種であつたと考へてゐるものです。

我が國の歴史のうちにも、婦人は男子に優るとも劣るものでないと云ふ事實を證明した婦人が少なくないと思ひます。文學方面に其の才能を輝かした婦人や、政治的に優れた手腕を揮つた婦人や、又は、純粹な美しい情愛に生きて女性の氣を吐いた婦人、云ひかへれば、女性に對して傲慢であるのが習慣である男子の鼻を挫くような偉い婦人が過去の我が日本にも相當にあつたように思はれます。

そして、さう云ふ女性として貴い婦人の一人々々を、今日の婦人運動と云ふ樹の芽となる一つ〳〵の種であると私は考へるのです。

さう云ふ意味での、婦人運動の種は勿論西洋には澤山ありました。そして、そのいくつかある種の一つとしてのクリスティン・ド・ピザンと云ふ婦人を私は此處に御紹介しようと思ひます。

一ツの種

クリスティン・ド・ピザンは一三六四年、今から五六四年前にイタリーのヴェニスで生れたのですが、彼女の父がフランスのチャーレス第五世に招かれて其の王様に仕へる身となつたものですから、クリスティンは父母と共にフランス

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

のパリーに住むようになりました。

　フランスの朝廷で非常に優遇され、非常な勢力を持つてゐた學者のトーマス・ド・ピザンの娘であるクリスティンは十五歲の時にエステンヌ・ド・カスチールと云ふ人と結婚しました。けれども、不幸なことには結婚後十年で、そして、子供が三人あるようになつてから夫のカステールは死んでしまひました。のみならず、夫と何にかとりひき關係にある人が惡い人であつたために、クリスティンは一文無しになつたばかりでなく、その後間もなく父親とも死別してしまひました。

　で、クリスティンは急に全く一人で、生活の道を立てなければならなくなりました。そして、生活のために文筆を執ることになりました。

　學者を父に持つてゐたクリスティンは其の當時既でにラテン學者として一流であつて、獨創

的な意見を持つて居りましたので、從つて、その當時の社會の一般の考へ方や傾向を批評的に見る目を持つて居りました。

クリスティンの女權論

　クリスティンの書いたものは百冊もあつて、そのうちには「ピーア・ドュ・ボア」「聖地の復興」「三德論」「貴族の戀愛」「バラの花のローマンス」「戀人から神樣に與ふる書」「婦人の都」等があります。

　そのうちには散文もあれば詩もあつて、そして、取扱はれた問題は、戀愛、倫理、政治などであつて、その外には戰術論まであると云はれて居りますが、とにかく、生活のために筆を執るようになつたのは西洋では此の婦人が始めるだらうと云はれて居ります。

　いづれにしろ、今から五百六十四年も前に此

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の地上に生を受けた人でありながら、既でに今日の女權主義の根本原則を摑んでゐて其の說明に非凡の筆を揮つてゐたのですから、實際私共は驚かされてしまひます。

即ち、彼女の主張も今日の女權主義の主張と同じく、凡ての婦人が其の人格を充分に發達させ、持つて生れた能力を充分に伸し働かせ得る狀態に置かれべきだと云ひ、婦人が其の狀態に置かれるために障害となるものは凡て取り除けられなければならないと云ふ主張です。

クリスティンの得意とする問題は勿論婦人の問題であつて、そして、婦人と政治の問題に付ては、無條件に婦人も男子と同じように政界に働けと云ふ程彼女の考へは未熟ではなかつたのですが、併し、彼女の常識と其の廣い意味の政治論は今日の最も發達した婦人參政權論者と同じように、婦人の立場から婦人も政治に參與せよと云つてゐます。

又、婦人の解放と云ふことに付ては、其の當時の非常に窮屈な位置に婦人は置かれてあるとは云へ、併し、婦人が有益な人間にならうと思へばなることが出來る。どんな窮屈な位置に置かれてあつても、その範圍內で人はどんなにでも自身の能力を發達させることが出來ると云ふことを云つて、そして、婦人の向上を阻またげる一番大きな障碍物は無學である。無學と云ふ障碍物があらゆる障碍物のうちで最も大きなものだと云つてゐます。

ですから、クリスティンの女權主義は此の頃の女權主義者のように大きな聲でどなると云ふよりは、靜かに、シト〴〵と人の心の中にしみ込んで行くと云ふやうな觀があります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

クリスティンの戀愛觀

西洋の婦人は一方に於ては天使のように崇拜され、他の一方に於ては惡魔のように嫌はれ卑しめられてゐると云ふ事實があつて、そして、今日の婦人論者は『婦人も普通の人間であつて神樣でも無ければ惡魔でもないと云ふ主張でありますか、そして、この、婦人が天使のように崇拜されると云ふ習慣は、中世紀の頃、ナイト又はキャヴァリーと云はれた所謂西洋の武士が苦しめられてゐる婦人を救けると云ふ習慣から始まつてゐると云はれてゐるのでありますが、このことに對してクリスティン・ド・ピザンは痛快な言葉を吐いて居ります。卽ち、それは『中世紀の騎士が崇拜した婦人は遺憾ながら多くの場合人の妻であつた』と云ふのであります。

それから、又、フランスの公卿仲間の戀愛を物語つた本がありますが、この物語のうちの女中の口を通してクリスティンは自分自身の戀愛觀を語つて居ります。つまり、女中が主人の娘に向つて意見をする言葉があるのです。そして、それは、たいくつしのぎやうさはらしにする戀愛遊戯が如何に危險なものであるかと云ふこと、さう云ふ危險なふちにのぞまずとも人は有益な仕事をして自分自身をなぐさめ得ると云ふこと、有益なことに常に頭を使つて居れば下らないことなどに頭を使つてゐる暇などはないと云ふことを說明してゐます。

つまり、武士かたぎの精神から婦人を保護すると云ふ名目の裏に、男の卑しい慾望が働いてゐたり、美しい戀愛と云ふ名の下に、一時的なうさはらし的なふざけた戀愛があることに對してクリスティンの優しい、そして、しつかりした精神は反抗の氣勢を擧げずには居られなかつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たのだと私は考へます。

クリスティンと男の女性觀

それから、又、女子は確固とした節操などありはしない。女は蛇だとか、狐だとか云ふような女に對する惡口に對しても、クリスティンは非常に憤つて居ります。

我が國では、婦人の地位がひくゝなり、卑しめられるようになつたのは佛敎が這入つて來てからだと云はれて居ますが、何故、佛敎が婦人を蔑(さげ)すんだかと云ふと、それは、男の墮落の原因が婦人にあるからだと云ふことだそうでして、そして、女は不淨なものだとまで卑しめたのですが、これは男の隨分得手勝手な議論であるに相違ありません。

さう云ふ一般の考へ方に對してクリスティンは云つて居ります。女を蛇だとか、狐だとか、

云ふ男は彼自身が既でに蛇であり、狐であるのだ。そして、自分自身の蛇であることや狐であることを隱そうとして、その惡い性質を女になすりつけてゐるものだと。

婦人をあざむき、侮辱するのが男の常習犯であるので、婦人は男の惡魔のような手から逃れるために常に嚴重な警戒を必要としてゐる。と。

が、それはとにかく、女を卑しいものである、恥づかしい者であると云ふならば、その女に生んで貰つた男は猶更より卑しい者、より恥づかしい者であるだらう。

であるから、女は決して男と別な者ではない。第一、お前を生んだ母、お前の親しい姉妹、お前の戀しい戀人、又は、妻、お前の可愛い娘、それ等が皆女であることを思へ、そして、婦人を尊敬し、婦人を名譽ある者と考へる時に、婦人と切つても切れない間柄にある男子自身も尊

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

敬に價ひする名譽ある者となることが出來る。

たま〳〵惡い女があつたからと云つて、それで凡ての婦人を惡い者と考へるのは良くない量見である。それは、丁度、男のどろ棒が現れたからと云つて、凡ての男をどろ棒と見るのが間違つてゐるのと同じことだとも云つて居ります。

「三代の戀」を讀む

現代ロシヤの女傑アレクサンドラ・コロンタイ著「戀愛の道」を私は讀んで見ました。これは二篇から成つてゐますが其のうちの一篇は「三代の戀」と題して、祖母マルヤの若い時の戀と母オルガの戀と、娘ゲニアの戀を描いたものです。

私共の常識で理解できる祖母マルヤの相手を一人と定めて置く戀から、男達のそれ〴〵の特長を好いて戀人を複數に持つオルガの戀から、單數も複數もない、ぶつかり次第、手當り次第の男にもしいくらかでも好いた處があればすぐ關係を結ぶ、しかも、それが戀愛と云ふような精神的要素が少しもなくとも、單なる肉慾的衝動を感じたゞけで關係を結ぶと云ふ絶大なる自由なゲニアの戀までに進んで行つてゐるのです。

祖母マルヤの戀に付ては別段云ふことは無いとして母オルガの戀に付て考へて見るならば、一人の男には精神的愛を即ち戀愛を深く感じてゐて離れがたく、同時に、もう一人の他の男に對しては肉慾的衝動を烈しく感じさせられて引きづられて行く。要するに、そこに三角關係が出來上がつて其の三角の凡ての角がもがき苦しむ。苦惱のあまりオルガは母のマルヤに氣持ち

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を打ちあけて相談する。母のマルサは娘のオルガに「どちらか一人に定めてしまはなければならぬ」と忠告、否、强要します。けれども、オルガは母のその要求を斥けて結局「母には自分の心が了解出來ないのだ」と斷言してゐます。

それを讀んで、私の心にすぐ浮んで來たことは、都會の道路の電車、自動車、自轉車、荷車及び徒歩の人達で非常に雜沓する交叉點の交通整理と云ふことでした。皆、それ〴〵の行くべき目的地があつて途上に乘り出した以上、一刻も先きを急ぐと云ふ氣持ちは、皆、同じでありませう。けれども、皆が自分々々の氣持ちを主にしてぐん〴〵押し進んで行つたならば衝突、慘劇は數ふるにいとまが無い程でありませう。そこで、皆が交通整理の巡査の擧手の命令に從つて「待つ」と云ふ犠牲を拂つて衝突、慘劇を避けると云ふことが今日の常識となつてゐます。

愛慾も、有史以來の人類の經驗が、その複數の決して有利でない幸福でないと云ふ事實を證據立てゝ、そして、一夫一婦に整理しなければならぬと云ふことが今日の常識となつてゐます。

が、實際には、まだ〳〵本當の意味の一夫一婦は一般には困難な狀態にあります。そこで、ロシヤあたりのこう云ふ戀愛に對する態度を見て、それが本當の行き方ではないか、人間性の本質に適ふものではないかと云ふ風に考へる向きもあるのですが、併し、さう考へるのは人間性の本質、及び、社會生活の法則を無視した結果であるように思はれます。

ですから、ロシヤ式の戀愛觀を贊成する人達が、今の男女關係が不完全で不幸であるからロシヤの婦人のように自由な考へを持つべきだと考へて居られるに反して、私は此の不完全な男女關係を完全な域にまで發達させなければならないと考へるものです。

母オルガの戀愛觀を押し進めて行けば娘ゲニアの態度になることは當然です。精神的の愛、卽ち、戀愛なしの男女の關係を認めて、そして、その肉慾のみの關係によつて生れた子がゲニアであるのですから、そのゲニアが戀愛なしの單なる性の衝動のみによつて異性と一つになり得ると云ふことは當然のもの〻順序で

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

す。そして、その相手が愛する母の良人であつても止むを得ないでせう。

まだ子供だとばかり信じてゐた娘ゲニアが「どうも姙娠したらしい」と云ひ、又「私には子供を持つひまが無い」と云ひ、そして、墮胎をするための相談をしかけた時に母オルガを驚愕させ呆然たらしめたものは、その子供の父がオルガの良人であると云ふことばかりでなく、「誰だか分りません」と云ひ、オルガの良人の外にも關係してゐた人があつたことを極めて平氣に其れがあまりにも當然のことであるかのやうなゲニアの態度でありました。

驚愕し、且つ、怒りに燃へてゐる母オルガに對しゲニアは「…………その男は私に氣に入り、私もまた彼の氣に入つたらしく思へたのです。すべてはこのように單純です。だから、それには全く何物にも責任がないわけです。私には、お母さん、あなたが何んでそんなに怒られるのかわかりません。私が金で身を賣つたとか、または男が暴力にうつたへたとか云ふのだつたら――それはまた別問題です。しかし、私は私の自由意志で進んでそれをやつたのです。私達はお互ひに氣に入つた間は一緒にゐます。だから、さうで無くなればお互ひに別れます。それによつて損害を受けるものは誰もありません。たゞ、墮胎のために仕事を二三週間中止しなければならないのが不愉快です。これからは、私も、もつと上手に姙娠から自分を守らうと思つてゐます。」と云ひ、ますます呆氣にとられてゐる母に向つて猶ゲニアは申ます。

「お母さん、あなたは、そんなことは賤しいことだ、人は戀愛なしに身をまかすべきでない、と云はれます。そして、私の「皮肉な見方」があなたを絶望させる、と主張されます。だが、お母さん、假りに私があなたの二十歳になる息子で、それが戰線に出て、獨り身で暮してゐるとします。その場合、彼が氣に入つた女と關係したからといつて、やはり、あなたはこんなにびつくりするかどうか、正直に云つて下さいな。淫賣を買つたとか、娘をだましたとか、こうしたことは賤しむべきことです。それには私も異議はありません。そんなことではなしに、自分が氣に入り、向ふも氣に入

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つた女と關係したのです。それでもやつぱりあなたは彼の「不道德」に眼を見はりますか？　でないとしたら何故あなたは私の「不檢束」に絕望なさるのです？敢へて斷言します。男の兄弟が人間であるように、私も、又、立派な一個の人間です……」と。

これによつて見ると、ゲニアは全然男性模倣の思想に囚はれてゐるのです。

今日まで人類は食慾本能に對しては隨分嚴しい制裁を加へられ、精選され「喝しても盜泉の水を飲まず」と云ふ處まで進んで來てゐます。お腹がすいたから、食べたいからよそのうちのものでも何んでも取つて食ふと云ふことは今日の常識は致しません。もし、敢へて其れをする人間があれば、狂人か野蠻人です。

愛慾に對しても嚴しい制裁が女性に對してのみ加へられてゐました。そのために女性の心には貞操觀念なるものが出來上がつたのでありますが、併し、全然放任されてあつた男性の心にはさう云ふものは出來なかつた。そこで、食慾本能なら充分抑制し得る男子でも愛慾本能の衝動は少しも抑制されず、起るがまゝに遂行されてゐました。それがどんなに女性を苦しめることになり、生れる子供に迷惑であらうとも、たゞ、一時の男性の慾望を滿足させるために顧へりみられずにゐました。

そこで、一部の人々は、男子の我がまゝから男子の都合のために女子に課しつけたそんな貞操と云ふ奴隷道德なんか打ち捨てゝしまへと云ふような意見ですが、併し、私の考へでは食慾本能が制裁され訓練され向上したことが善いと同じように、女子の愛慾が制裁され、訓練され、向上したことは善いと思つてゐます。なる程奴隷道德は汚い泥田であつたが併し、その泥田から芽を出して咲いた蓮の花はやつぱり美しいものであると私は考へて居ります。そして、女性のみが持つてゐた貞操觀念を捨てゝ、男性の野蠻的性慾遂行に行くことの代りに、男性を女性の貞操觀念にまで引き上げて來るべきだと私は信じてゐます。

そこで、ゲニアの愛慾觀は決して進歩したものではなく、野蠻的愛慾觀への逆もどり低級な男性模倣だと考へます。

好いた同志は結び付き、好かなくなつたら離れるのは極はめて自然だとゲニアは主張してゐますが、それとは反對に、二人の男女がお互ひの信實を誓つて共力し家庭を造り子供を育てるのも亦それと同じように、否それ以上に雌雄の鳥が共力して巣を造る如くに自然であり、そして、この方が幸福の分量が多いことを信じます。「幾人も〳〵の女と關係しながら充分に愛慾を滿足させることの出來ない男があるに反して、一生のうちにたつた一人の女性を愛して、しかも、盛りこぼれる程の愛の盃を味ふ男がある」と云つた文豪があります。

ゲニアの誤まつた考へのうちで、最も誤まつてゐる處は、兩性關係なるものを餘まりに單純に考へてゐることです。兩性關係は生命の源でありますから、この關係を深重に考へることによつて人類の向上は計られるに反して、この關係を輕視することによつて人類が墮落して行くことは火を見るより明らかであると云ふ處をゲニアは考へてゐません。

人類とか、社會とか云ふことは別としてゲニア自身の幸不幸と云ふことに付いて考へて見ても、今、ゲニアは花ならば開いたばかりの露のしたゝるような若さでありますから、愛慾に關しての苦い盃を味つて居ないので勝手な熱を吹いてゐられるのですが、やがて年が進んで行つて其のつや〳〵した若さを失つた時分に付いて考へて見なければなりません。

愛無しの人生は淋しい、肉體の勢力は衰へて異性に對する衝動は無くなつても、人はやはり愛の對者を精神的に必要とします、そして二つのたましいがヒッタリ融合してゐる老夫婦は人生の幸福の享有者です。が、この二つのたましいの融合と云ふことは一朝一夕では實現出來ない。

人生の春を共に樂しみ、夏の苦熱と共に鬪ひ、秋の收獲に共力し、かくして、冬に入つて、滿腔の同情をもつて慰め合ふことが出來るのでありませう。つまり、そこには、何物にも動かされない精神的の愛が確實に根を張つてゐるのです。

けれども、人生の花である間は、誰にでも容易にめでられる。精神的要素が無くても精神的で無い人間に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は淋しさはない。が、年が進んで、自分の美が衰へて來て、自分が好きでも、向ふが嫌つて、自分が命までもと好いてゐても、向ふが自分よりも若い美しい女に抱かれて行く時には決していゝ氣持ちではないに相違ない。が、その時になつて、若い時から精神的愛を培つて置かなかつたことを後悔してももう追付かない。

で、ロシヤ式の戀愛を一部の人々が進歩的だと考へてゐるに反して、私は、野蠻時代の雜婚、亂婚への逆戻りだと斷定致します。

編輯の後

雜誌が百號になつた場合ひの世間の振り合ひを見ますと、何にかしら大々的な計畫があるのが慣例のようでありました。そして、それは大抵廣く廣告しようとする手段のようでありました。本誌の百號も何かしたらと云ふ知人の忠告もあるにはありました。けれども廣く一般の婦人界に歡迎されてゐないことが明らかであるものをわざ／＼多くの費用をかける氣にもならず、又、かけられもせず、「せめては、平生厚意を持つてゐて下さる方達の原稿でもあつめたら」と云つて下さる方もあつたのですが、皆さんがそれ／＼御忙しいのに御煩はせするのもと云ふ氣持ちがして、とう／＼なんにも致しませんでした。

たゞ、心ばかりの御祝ひに一寸着物を着せて見ました。既ち、平生は無かつた表紙を付けたわけで御座います。いつ迄も貧弱な姿でゐることを愛讀者諸氏に申わけなく思つて居ります。

世の中の風潮が變つて來るか、それとも、こちらの考へ方に變化が起るか、とにかく何にか大きな轉換期が來ない限りこの雜誌は大きくはならないと思ひます

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

廣告

ドクトル大久保潜龍處方

齒槽膿漏齒磨効能

「ぱいおれいあ」齒磨　正價金壹圓也

一、齒齦より膿汁の漏出する人
二、口腔の不潔にして多量の齒石・齒垢が附着して口氣の惡臭ある人
三、齒齦の弛緩甚しく暗紅色をしてゐる人
四、朝起きたとき齒齦が搔痒或は疼痛する人
五、屢々冷熱に對し齒牙の知覺過敏な人

使用法

◇淸潔なる指頭に適量を附して靜かに齒齦の內外にすり込み、後に齒楊子を使用し微溫湯を以て含嗽せらるゝ時は可溶性成分は溶解して强力なる含嗽藥となり扁桃腺炎等に有効なり。
◇强度の病症の人は三食前に使用せらるべし
◇普通の方にても此齒磨を使用せられたし
◇使用量　壹ヶ月以上

注意　本品は大久保ドクトル十數年來苦心研究の結果創製せるものにして、多數の患者に實地使用せしめたるものなれば効果確實なるものなり。

本誌定價表（臨時）

一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

昭和三年六月廿三日印刷納本
昭和三年七月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉

東京市牛込區若松町五四
印刷人　大杉直次郎

東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會
振替東京五三六八八番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN